



春を迎える準備 希望に満ちたスタートに向けて

校長 小林 理人

校庭の土壇を彩る梅の蕾がほころび始め、花の蜜を求めて飛び回るメジロやウグイスの姿も見られるようになりました。春を迎える準備の始まりを感じます。そして、子供たちも春を迎えるための準備を始めています。本日は、1年生と5年生が4月に入学する園児を迎えて交流会をしました。1年生はこの活動をきっかけに、入学式で新入生を迎える歌や呼びかけの練習を始めます。また、他学年の子供たちや私たち教職員も、今年度のまとめや新年度を意識した活動や準備を始めます。

保護者アンケートから感じた期待の高まりと励ましの温かさ

私たちの準備は、新年度計画の作成です。そして、それは、保護者の皆様や子供たちを対象に実施したアンケート結果を踏まえて進めていきます。

私たちは、冬休みに保護者及び児童アンケートの集計と、分析を行いました。そして、その作業を進める中で、3つのうれしいことがありました。

1つは保護者アンケートの回収率の増加です。これまで5割～6割だった回収率が、今年は7割を超えました。2つ目は肯定的な評価の割合が高くなったことです。全ての項目について、肯定的な評価の割合が、目標としていた数値(80%)を超えました。3つ目は自由記述において賞賛や温かい励ましの内容が増えたことです。特にこれまで学校で力を入れて取り組んできたことを取り上げて認めていただけたことは教職員や子供たちの達成感につながります。

私が本校に着任し6回目の保護者アンケートになりますが、保護者の皆様の学校に対する関心や期待の高まりや、学校を支え励ます温かさを実感するうれしい結果となりました。詳しくは、本日配布した「学校アンケートのまとめ」をご覧ください。

今後、皆様からいただいたアンケートの結果をもとに具体的な計画を立てていくこととなります。そして、新年度の計画については、3月の学校だよりや保護者会での説明を予定しています。

まだまだ寒い日が続きますが、4月に満開を迎える桜のように、2月は新年度に向けて「準備」を意識する言葉とし、学習や様々な活動を進めます。そして、みんなが笑顔で4月を迎え、希望に満ちたスタートができるようにします。

書き初め展 今年も全員の力作が展示できました

1月18日(土)の学校公開には、雪がちらつく寒い中をたくさんの保護者、地域の皆様にご来校いただき、3学期の学校の様子や書き初めの作品を見ていただきました。今年の書き初めも、昨年に引き続き、全員の力作を展示することができました。冬休み中を含め、温かい言葉で励まし、支えてくださった保護者の皆様に感謝いたします。

そして、先日行われた全校朝会で各学年の金賞に選ばれた子供たちに賞状を渡しました。各学年の金賞、銀賞の児童は裏面に紹介します。

(銀賞は教室で担任から賞状を渡しました。)

今年も、子供たちの頑張る力と、保護者の皆様の支える力が一つになり、二小らしい心が通う温かい書き初め展ができました。

